

陸軍軍法會議法案外十一件特別委員會會議事速記録第三號

付託議案

明治四十三年法律第三十號中改正法律案

大正十年二月二十三日(水曜日)午前十時二十八分開會

○委員長(松室致君) ソレデハ是カラ開會イタシマス、小委員會ノ經過ヲ一應、成ルベク簡單ニ御報告致シマス、小委員會ハ都合タシカ十三回シヤト思ヒマスガ、午前午後ニ互ツテ開會シタ日モ二三アリマス政府委員ノ御説明、ソレカラ各委員ノ御質問ガズツ續イタノデアリマス、デ其御質問ハ餘程多岐ニ互ツテ居リマシテ、ナカ()之ヲチヨット記憶モ致シテ居リマセス、一、御報告ヲ申上ゲマスト大變長クナリマスカラ、極ク主ナル御質問ト考ヘマスル者ヲ少シバカリ御報告イタシマス、政府委員ノ御説明ハ委員會ニ於テ御説明ニナツタモノト大體ニ於テ變ツタ事ハアリマセス、併ナガラ今度小委員デ調査ヲ致シマシタノハ大分細カクナリマシテ、第一編ハ各章ニ付テ審議ヲ致シマシタ、ソレカラ第二編以下ハ章ガ大變長イモノデアリマスカラ、其内ノ一節々々ニ付テ審議ヲ致シマシタ、之ニ對スル政府委員ノ御説明ハ先日委員會ニ於テ説明ニナツタモノヨリカ、大分詳細ニナツテ居ルノデアリマス、併ナガラ此ノ御説明モ色ニ詳シク承リマスルト、連モ御説明バカリデ日ヲ費シテ了ハナケレバナラヌヤウニナリマスルカラ、成ルタケ出來ルダケ簡略ニ御説明ヲ願フコトニ致シマシテ、ソレデモ随分詳細イ御説明デアリマスカラ、之ヲ一、申上ゲルト云フコトハ到底出來マセズ、速記録ニ詳細上ツテ居リマスカラ、是デ御覽ヲ願フコトニ致シマス、速記録ハ確カマダ八號位シカ出來テ居リマセスケレドモ、第八回目シカ出來テ居リマセスケレドモ、其以後ノハ主ニ速記ヲ止メテ懇談ヲシタコトガ多イノデアリマスカラ、大シタコトハアリマセス、八號マデ御覽下サイマシテ、大體此經過ハ御分リニナリマスカラ、別ニ詳細ナル報告ハ致シマセス

コトニ致シタイト思ヒマス、ソレカラ主ナル御質問ト申シマスルノハ、第一編アタリガ一番御質問ガ多ク、普通裁判所デハ定年法ガ今問題ニナツテ居リマスガ、陸海軍デハドウダト云フ御質問ガアリマシタ、其御質問ト云フノハ法務官ガ今マデ海軍デハ主理ト云ヒ、陸軍デハ理事ト云フ名稱ガ附イテ居リマシタモノヲ、陸海軍共ニ法務官ト云フコトニ致シマシタ、其法務官ガ終身官デアルト云フコトニナリマシタ、從ツテ定年ト云フモノハ矢張り必要ニナリハシナイカト云フ御質問ガアリマシタ、結局ノ處、陸海軍ノ政府委員ノ御説明デハ、今日ノ所ノ經驗ニ依ルト別ニ此定年ト云フモノヲ設ケル必要ハナイ、普通裁判所ノ方ハ司法省ノ政府委員ノ御説明ニ依ルト、ドウシテモ新陳交代ノ必要ガアル、有爲ノ新進者ヲ上セルコトガ出來ヌ、上ガ間ヘテ上セルコトガ出來マセスカラ、ソレデ定年ヲ設ケルト云フ必要ヲ感ジテ居ルノデアルト云フ御説明デアリマシタガ、陸海軍ニ於テハサウ云フ必要ハナイ、ト云フコトニ結局歸スルヤウデアリマス、ソレデ他日必要ガ生ズルコトガアツタ時分ニハ、其時ニハ又問題ニナルカモ知レマセスガ、今日ハサウ云フ必要ハ感ジナイカラ、ソレデ此法案ニハサウ云フ規定ヲ設ケナカッタノダト云フ御説明ニ止マルヤウデアリマス、其次ニハ陪審陪審モ亦議院ノ問題ニナツテ居リマセスケレドモ、既ニ樞密院ノ議ニ上ツテ居ルヤウナ譯デアリマスカラ、陸海軍ノ軍法會議ニモ矢張り陪審ヲ置ク必要ガアリハセスカト云フ御質問デアリマシタ、之ニ對スル政府委員ノ御説明ハ、各國ニ於テ何處デモ陪審ノ制度ヲ軍法會議ニ採用シテ居ル所ハナイ、ソレカラ陪審ノ制度ハ陸海軍ノ制度ト兩立シナイト云フ此二ツニ歸著シタヤウデアリマス、ソレデ矢張り將來普通裁判所ニ於テ陪審ヲ採用サレテモ、今日ノ此法案ガ通過シタ曉ニ改正スル必要ガナイト云フノデアリマシテ、ソレカラ軍法會議ノ構成デアリマス、陸軍ト海軍ハ趣意ハ同

ジ事ニナツテ居リマスケレドモ、餘程法文ノ書キ方ガ違フテ居ル、陸軍軍法會議法ノ第四十九條ト五十一條ト、海軍ノ方デハ餘程概括的ニ出來テ居ル、陸軍ノ方デハ餘程細カク刻シデアリマス、例ヘバ此第四十九條ノ第一項第一號ノ如キハ、被告人下士又ハ兵卒ナルトキハ中佐又ハ少佐一人大尉一人中尉又ハ少尉二人斯ウ云フ風ニ細カク刻シデアリマス、海軍ハ比較的概括的ニ規定ガシテアルノデアリマスカラ之ヲ一致スル陸海軍共ニ同ジ様ニ書イテハドウダト云フ御質問ガアリマシタガ、海軍ト陸軍トハ各々異ナル所ガアルカラ、ドウモ一樣ニスル譯ニハ行カナイ、海軍ノ方デハ餘程人ガ少ナイ、陸軍ニ比較スルト職員ガ少ナイカラ、其場合ニ於テハ餘リ細カニ規定スルト組織ガ出來ナイ事ガ起ルカモ知レナイ、陸軍ノ方デハサウ云フ差支ハ起ラヌ、人ガ多イカラ何レノ場合ニ於テモ細カク規定シテ居ル、ソレデ其通りニヤラレスト云フコトハナイカラ、ソコデ細カク規定シタ方ガ宜イト、斯ウ云フコトニ歸著スルヤウデアリマシタ、其外此辯護人ヲ軍法會議ニ用フル事ニナリマシテ、被告人ガ辯護人ヲ頼ンデ辯護ヲシテ貰フコトヲ許サレルコトニナリマシタ、所ガ此常設ノ軍法會議デハソレガ出來マスルケレドモ、特設軍法會議ト云フモノニナリマス、辯護人ヲ用フルコトガ出來ナイコトニナツテ居ルノデ、即チ此ノ辯護人ニ關スル規定ヲ特設軍法會議ニハ適用シナイト、是ガドウモ徹底シナイノデアリナイカ、辯護人ノ辯護ヲ許シタナラバ、何レノ場合デモ辯護ヲ許シテ宜イノデハナイカ、少ナクモ特設軍法會議ニ於テモ辯護ニ關スル規定ヲ用フルコトガ出來ルト、即チ適用スルコトヲ得ズトカ、適用セザルコトヲ得ルトカ云フヤウナ規定ヲ設ケタ方ガ宜イデハナイカト云フ御質問ガアリマシテ、是レモ陸海軍共ニドウモ特設軍法會議デハ辯護人ヲ用フルト云フコトニナルト、餘ホド訴訟ノ落着ガ遅クナツテ、軍紀上甚ダ困ルト、ソレデモウ全ク是ハ此場合ニハ辯護ヲサセナイコトニスル

方が適當デアルト云フ御答ノヤウデアリマシタ、ソレカラ今マデノ現行法デハ上訴ヲ許サヌコトニナツテ居リマスガ、上告ヲ許サレルコトニナツテ居ル、上訴ソレカラ非常上告、再審、總テサウ云フモノニ互ッテ許サレル、是モ矢張り常設ダケデ特設軍法會議デハ矢張り上訴ハ許サヌコトニナツテ居ル、ソレモ徹底シナイデハナイカ、上訴ヲ許シタ以上ハ、矢張り特設軍法會議ノ裁判ニ對シテモ許スガ宜イデハナイカト云フ御質問ガアリマシタガ、ソレモ矢張り特設軍法會議ニ於テハ殊ニ急速ヲ要スルノニ、上訴ヲ許スト落著ガ遅クナツテ、軍紀上甚ダ弊害ガアルカラ許サヌデアルト云フ御答ノ様デアリマシタ、マア重ナ點ハサウ云フ邊リデアリマシタ、其外ノ事ハ速記録デ御覽ヲ願ヒマス、ソレデ最後ニ意見ノ交換ニナリマシテ修正說ガ二ツ程出マシタノデアリマス、其一ツノ修正說ハ陸軍軍法會議法ノ第九十六條、海軍モ條ハ違ッテ居ルカモ知レマセヌガ、矢張り同ジ事デ「裁判ノ評議ハ之ヲ公行セズ但シ法務官試補ノ傍聽ヲ許スコトヲ得」ト斯ウアリマス、此但シ以下ハ削ルガ宜イ、公行シナイト云フ事ヲ規定シタノニ、大シタ理由ガナクッテ法務官試補ノ傍聽ヲ許スト云フノハ、矢張り是モ徹底シナイ、法務官試補ニ傍聽ヲ許ス理由ハ唯修習ヲサセル、見習ヲサセルト云フニ過ぎナイカラ、其位ナ薄弱ナ理由デ此原則ヲ破ルト云フノハ宜シクナイデハナイカ、ソレデ是ハ削ッタガ宜カラウト云フ修正說ガ出マシタ、デ小委員ノ諸君ノ御意見ハ大抵分ッテ居マスルケレドモ、是ハ別ニ小委員會デ極メズニ、其儘ニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラマーッハ陸軍軍法會議法ノ第七十五條、此條ガデス、マシ現行法ノ缺點ニナツテ居ル所ガアリマスカラ、現行法ト申シマシテモ普通裁判所ノ刑事訴訟法ニ於テ足ラナイ所ガアツテ、實際ソレデハ困ッテ居ル、規定ナシニ無理ニ行ッテハ居ルケレドモ、ドウモ穩當ナラヌト云フ所ガアリマスカラ、ソレヲ玆ニ補ッタガ宜カラウ、此第七十五條ハ矢張り其普通裁判所ノ刑事訴訟法ノ草案ヲ其儘探ッタノデアリマシテ、同ジ缺點ガアリマスカラ、ソレヲ補ッタガ宜カラウト云フノデ、是ハ私ガ其修正說ヲ出シタノデアリマス、

ケレドモ是ハ諸君ノ御意向ヲ伺ッテ見マス、矢張り假令缺點ガアツテモ僅ナコトニ手ヲ著ケヌデ九吞ミニシタ方ガ宜カラウト云フ御意向ノヤウデアリマスカラ、是ハ撤回イタシマシタノデ、ソレデ其詳細ノコトハモウ述べルノ必要ガアリマセヌカラ述べナイ事ニ致シマス、先ヅサウ云フ所デ小委員會ハ結局終リマシタノデアリマス、是ダケヲ御報告イタシマス、ソレカラチヨットマダ落シテ居リマスガ、其外是ハ陸軍軍法會議外十件トナツテ居リマス、是ハ小委員ヲ選定ニナツタ時分ニ細カク其御相談ガ行届イテ居リマセヌデシタケレドモ、兎ニ角、陸軍軍法會議法案、朝鮮軍法會議ニ關スル法律案、臺灣軍法會議ニ關スル法律案、關東軍法會議ニ關スル法律案、海軍軍法會議法案、陸海軍軍法會議私訴裁判強制執行法廢止法律案、刑事交渉法案、陸軍法務官及海軍法務官ノ恩給及遺族扶助ニ關スル法律案、巡查看守退隱料及遺族扶助料法中改正法律案、明治三十五年法律第二十九號中改正法律案、明治四十四年法律案第六十一號中改正法律案、是ダケノ者ハ矢張り陸軍、海軍軍法會議法案ニ皆附屬シタモノデ、牽聯シテ居リマスカラ同時ニ小委員會ニ委託ニナタモノト考ヘマシテ皆是ハ議ニ上ボセマシタ、唯一ツ明治四十三年法律第三十號中改正法律案ハ後ニ出テ來マシタモノデアリマスカラ、是ハ其當時委託ニナツタモノデナイ、斯ウ云フ考デ、是ダケハ議ニ上ボセマセヌ、此上ボセマシタ九案ハ皆別ニ御意見モアリマセヌシ、又質問モ餘リ起リマセヌ、其儘ニナツテ居ルノデアリマス

○委員長(松室致君) ソレデハ内務省警保局長ガ見エマシタカラ、明治四十三年法律第三十號中改正法律案、此案ニ付イテ政府委員ノ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(川村竹治君) 此改正案ハ極メテ單純ナ改正案デアリマシテ、巡查看守退隱料及遺族扶助料法ト云フ法律ハ明治四十三年法律第三十號ヲ以テ之ヲ警部補ニ準用スルト云フコトニナツテ居リマス、然ルニ今回巡查看守退隱料及遺族扶助料法中ニ改正ヲ提出シタ次第デアリマス、此改正案ニ依リマス、巡査ト判任官ノ待遇ヲ受クル所ノ消防手トノ間ニ退隱

料及遺族扶助料ノ給與ニ付イテハ、其勤續年限ヲ互ニ相通算スルト云フコトニナツテ居リマス、從ッテ明治四十三年法律第三十號ニ於テモ、警部補又ハ巡査、又ハ判任官ノ待遇ヲ受クル消防手ト云フコトニ改メマシテ、警部補判任官ノ待遇ヲ受クル所ノ消防手トノ間ニ退隱料及遺族扶助料ヲ給與スル場合ニハ、相互ニ在職年限ヲ通算スルト云フコトノ趣意ニ改メタイト云フノガ此改正案ノ骨子デアリマシテ、曩ニ提出イタシマシタ巡查看守退隱料及遺族扶助料法ト同一ノ趣意デアアリマス

○委員長(松室致君) 別ニ御質問ガアリマセネバ今日ハ是ダケデ措テ置キマセウ

○矢口長右衛門君 チヨット伺ヒマスガ、小委員會ノ報告ガ原案トナツテ、ソレガ委員會ノ原案ニナリマスカ、報告、即チソレガ原案ニナルノデアリマスカ

○委員長(松室致君) モウ一回開キマシテ、...御意見ガアリマスレバ今承ッテ置キマシテモ...

○矢口長右衛門君 私ハ三十二條ト九十條ニ付テ意見ト質疑ガゴザイマスノデ、ソレハ後日ニ述べマシテモ宜シウゴザイマスカラ、留保シテ置キタイト思ヒマス

○委員長(松室致君) 今承ッテ置キマス方ガ宜イト思ヒマス、何條デスカ

○矢口長右衛門君 三十二條、海軍軍法會議...ソレデハ宜シウゴザイマスカ

○委員長(松室致君) ハイ

○矢口長右衛門君 意見ヲチヨット述べマス、三十二條ニ「判士ハ海軍ノ將校ヲ以テ之ニ充ツ」トゴザイマスカラ、海軍ノ將校及海軍將校相當官ヲ以テ之ニ充ツト訂正ヲ加ヘタイノデアリマス、其理由ハ海軍將校ト云フモノハ、御存ジノ如ク、兵科將校ニ機關科將校、是ガ所謂海軍將校デアリマス、又海軍將校相當官ガアリマス、軍醫科將校相當官、主計科將校相當官、造船科將校相當官トゴザイマシテ、此ノ兩者ノ間ニ何等ノ優劣ヲ見ナイノデアリマス、ダカラ是ハ「海軍ノ將校及海軍將校相當官」ト云フモノヲ玆ニ入レルノガ宜クハアルマイカト、私ハ斯ウ云フ意見ヲ有ッテ居リマス、兵科ト機關科ノ將校ノ外ニ、軍醫科ト主計

科ト、造船科トニハ、將校相當官ヲ有テ居リマス、其間ニ何等優劣ハ有ルマイト思ヒマスソレガ五十條ニモ「特設軍法會議及要港部軍法會議ニ於テハ長官ハ海軍ノ將校又ハ將校相當官ヲシテ法務官ニ代リ裁判官ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得」トアリマシテ、矢張り海軍ノ將校又ハ將校相當官ヲシテ云々ト書イテアリマス、ソレカラ第八十八條ニモサウ云フコトガ認メテアリマス、八十八條ニハ「辯護人ハ左ニ記載シタル者ヨリ之ヲ選任スベシ、一、海軍ノ將校又ハ將校相當官、二、海軍高等文官又ハ同試補、三、海軍ノ指定シタル辯護士」ト云フモノヲ認メテ居リマス、ソレデアリマスカラ、海軍軍法會議ノ三十二條ニモ「海軍將校及海軍將校相當官」ト云フ文字ヲ入レルノガ、ドウシテモ適當ト考ヘルノデアリマス、是ガ第三十二條ニ對スル意見ト質疑デアリマス、ソレカラ九十條ニアリマス辯護人ノ數デアリマス、辯護人ノ數ハ被告人一人ニ付二人ヲ超ユルコトヲ得ス」トアリマス、折角辯護人ヲ置ク以上ハ、人數ヲ制限スルノハ如何カト思ヒマス、折角辯護人ヲ置イテ被告人ヲ保護スル以上ハ、明カニ二人ト限定スルノハ、ドウカト云フノデアリマス、一人ニ付二人ト、限ラズニ置クカ、或ハ此箇條ヲ除イテ仕舞フカ、何レカノ方法ヲ以テ之ヲ訂正スルノガ至當カト思ヒマス、私ノ意見ハ右二箇條ダケガ、所謂小委員會ノ報告ニ反對ノ意見ヲ有テ居ル所デアリマス、ドウゾ宜シク……

○委員長(松室致君) 如何デアリマセウ、マダ其點ニ付テ政府委員ノ説明ヲ御聽ニナッテ居ラヌダラウト思ヒマスガ……

○矢口長右衛門君 此點ハモウ御聽シタノデアリマスカラ、大抵ノコトハ分ッテ居リマス、モウ御聽スル必要ハゴザイマセヌト思ヒマス、私ハ此主張ヲ曲ゲルコトハ出來ナイ、私ノ頭カラサウ考ヘテ居リマスノデ……

○政府委員(志水小一郎君) 此員數ノコトニ付テハ是マデ御尋ガゴザイマセヌノデ、新タナコトデゴザイマスカラ……

○委員長(松室致君) 御意見ガアレバ申サレテ宜シウゴザイマス

○政府委員(志水小一郎君) 是ハ段々練リマシタコトデ、イロ／＼外國ノ制度モ段々穿鑿イタシマシタ所ガ多ク制限ガゴザイマス、ソレハ辯護士ノ身分デ制限シテ居リマス、辯護士名簿ト云モノヲ作ッテアリマシテ、ソレカラ辯護イタシマス犯罪ノ性質上ニ付テ、普通ノ辯護士ニハ軍事ニ關係ヲ致サセマセヌ、サウシテ員數ヲ制限シテ居リマス、無制限ノ所ハナイカト思ヒマス、段々詮議イタシマシタ所ガ、被告人一人ニ付一人ト云フ制度ガゴザイマスカラ、マア二人トシテ置イタラ宜カラウ、是ハ刑事訴訟法ノ改正案ニモ此議論ガアリマシタガ、刑事訴訟法ノ改正案ニモ二名トカ、三名ト云フコトニ制限イタシテアリマスデアリマス、多クノ議論ガアリマシタガ、其議論ノ結果、人員ニ制限ヲ加ヘタノデアリマス、公判ノ時ニ重複ノコトガアリマス、何レノ點マデ重複シテ居ルカ、何レノ點マデ重複シテナイカト云フコトガ、實際ニ於テムヅカシカラウト思ヒマスノデ、寧ろ一人トナサズシテ、二人トシテ置カウト云フノデ、斯ウ云フコトニナリマシタ、多クナリマス、自然辯論ガ長クナリマスノデ、ソレハ最モ軍事裁判上デ厭フベキ所デアリマスカラ、斯ウ云フ趣意ガ出來テ居リマス、御意見ハ御意見トシテ置イテ、立案ノ趣意ヲ申上デマス

○政府委員(内田重成君) 此海軍案ノ三十二條ニ付キマシテノ御意見ガ出マシタカラ、極ク簡略ニ其點ニ付キマシテ申上ゲテ置キマス、判士ヲ海軍ノ將校ニ限リマシタ理由ハ、從來ノ沿革ニ基キマシタ理由ガ大部分ヲ占メテ居リマス、其他ニ軍令、承行令トゴザイマシテ、軍令ヲ行ヒマスル人ニ付テノ海軍ニ於ケル規定ガアリマス、ソレハ兵科將校ハ官階ノ上下、任官ノ前後ニ依ッテ軍令ヲ順次承行スル兵科將校ガアラザルトキハ機關將校軍令ヲ承行スルコト云フ規定ニ相成ッテ居リマス、其軍令承行ノ權アル人ヲ以テ裁判官トスルコト云フコトニ決メマシタノデアリマス、御意見ノ如ク此ノ將校相當官ヲ以テマシテ或ル場合ニ裁判官トスル場合ガアル、又將校相當官ヲ豫審官ニ用ヒマスル場合ガアル、辯護人ニ用ヒマスル場合ガアリマス、併シ此將校相當官ヲ使用イ

タシマスル場合ハ法務官ニ代ッテ法務官側ノ仕事ヲ致シマスル場合ニ代リマスダケニ止メテ居リマス、此ノ判士ノ側ニ立チマスル時ニハ此ノ將校相當官ハ是ガ宛テ、ナイ立テ前ニ相成ッテ居リマス、ソレダケヲ申上ゲマス

○委員長(松室致君) チョット私ハ此ノ報告ノ中ニ、經過ニ少シ申上ゲ漏シタノガアリマスカラ、チヨット附加ヘテ置キマス、小委員會ニ於テ修正案トシテ出タノハ唯今申上ゲタノ一點ニ止ルノデアリマス、ケレドモ尙ホ委員ノ御考ヘデマダヨリ大キナコトデ修正ヲ致シタイト云フ御意見ヲ有ッテ御居デニナル御方ガアルノデ、其ノ一、二ノ例ヲ舉ゲマスルト樋口サンノ御意見デ、軍人ノ裁判ハ軍人ガスルト云フ此ノ古イ歴史ヲ、今更變更スルノハ宜クナイト云フ御意見ナノデ、ソレカラ阪本サンノ御意見ハ、辯護權ヲ決定スル様ニ致シタイ、上告ヲ決定スルヤウニ致シタイト云フ御意見、ソレカラ私モ此ノ法務官ヲ終身官ニスルト云フノハ一向徹底シテ居ナイ、有名無實ノ様ナ譯デアルカラ、別ニマダ規定ノ仕方ガアルダラウト思フ、ソレカラ豫審ト捜査トハ重複シテ居ルカラ是ヲマルデ作り變ヘタ方ガ宜イト云フ意見ヲ有ッテ居リマス、其他意見ガ多クアルノデアリマス、併シンナコトヲ云フト軍法會議法ハ到底出來マセヌカラ即チ今日ノ現行法ト改正案ヲ比較シテ見ルト、ドッチガ宜イカイ云ヘバ此ノ正案ノ方ガマア大體ニ於テ宜イト考ヘルノデアリマスカラ、ソレデハ先ヅ枉ゲテ自分ノ意見ハ棄テ終ッテサウシテ參ルト云フノガ殆ド自分ヤ諸君ノ御意見ヲ……ソコデ唯一ツ殘ッテ居ルダケノ外修正シナイコトニナッテ居ルノデアリマス、是ダケヲ申上ゲマス

○矢口長右衛門君 イヤ、私モ此ノ案ニ付テハ大體賛成イタシテ居リマス、又以前ニ比較シマシテ一層進ンダ良イ法律ダト云フコトハ吞込シテ居リマス、唯、今ノ二點ガ我輩ヲシテ其意ヲ得セシメルコトガ出來ナイ、サウ云フ譯デアリマス、併シマダ時日モアリ私モ能ク考慮イタシマスルシ、皆サンノ亦委員會以外ノ御方ノ意見ヲ御聽キスル事モゴザイマセウ、ソレデ意見ヲ定メマス

内務省警保局長 川村 竹治君

理事 志水 小一郎君

主理 内田 重成君

○男爵阪本俊篤君 唯今委員長ヨリノ御述べノ中ニ、辯護權上告ノコトニ對シテ不徹底デアルカラ之ヲ改正シタイト云フガ如キ、私ガ意見ヲ提出イタシタト云フヤウニ聞イテ居リマシタガ……

○委員長(松室致君) イヤ、是ハ御提出ニナッタ譯デヤナイ

○男爵坂本俊篤君 イヤ、……デアリマスルガ、私ハ唯不徹底デアルカラ、是ヲモウ少シ徹底セシメルヤウ、餘裕ヲ存スルコトハ出來ナイカト云フコトヲ政府委員ニ尋ネタ次第デアリマシテ、元來此ノ軍法會議ノ特殊ノ法律タル性質ニ顧ミテ、左様ナ不徹底デアルコトハ到底免レナイノデアリマスカラ、之ヲ徹底セシムル時ニハ軍法會議ノ本質ニ缺點ヲ生ズル、又之ヲ普通法ノ如クニ徹底セシメバ所謂帶ニ短シ襷ニ長シト云フヤウナ形ニナリマシテ、斯様ナ性質ヲ帶ビテ生レタ法案デアリマスルカラ、之ヲ調和スルコトハ到底困難デアリマスガ故ニ、先ヅ今日ノ程度ニ於キマシテハ此ノ改正案ヲ以テ満足スルヨリ致シ方ガナイ、斯ウ云フコトニ考ヘテ居リマス

○委員長(松室致君) ソレデハ今日ハ是ダケデ置キマセウ

午前十一時二十九分散會

出席者左ノ如シ

委員長 松室 致君

副委員長 男爵坂本 俊篤君

委員

侯爵細川 護立君

伯爵柳澤 保惠君

男爵小澤 武雄君

子爵樋口 誠康君

子爵立花 種忠君

大島 健一君

河村 讓三郎君

男爵宇佐川 一正君

男爵佐竹 義準君

矢口長右衛門君

政府委員